



←学校 HP にアクセスすれば、カラー版が見られます。

榎原小学校 学校だより

まきはら

2023年度 No.6

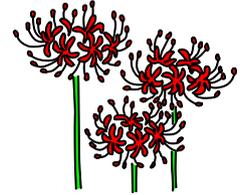
令和5年 9月29日発行

令和5年10月 5日回覧

柏崎市春日三丁目4番31号

TEL 0257-22-4090

明日さ寒さも彼岸まで



今年の夏は猛暑日が続きました。人も動物も、植物にとっても厳しい夏でした。

9月中旬を過ぎても暑いので、秋は来るのかと心配しましたが、先週から雨が降り始め、ようやく涼しくなってきました。暑さ寒さは彼岸まで…といいますが、ここ数日は肌寒さを感じるほどです。急な気候の変わり方で、体調を崩しているお子さんもいます。体調管理をお願いします。

まきの子の活動紹介

夏休み明けからの子どもたちの活動の様子を写真で紹介します。



1年図工 砂を使った造形活動



2年生活 モルモット飼育の引継ぎ



3年社会 市役所見学



4年社会 赤坂山浄水場見学



5年総合的な学習 稲刈り



6年社会・総合 佐渡修学旅行

10月6日(金)で令和5年度の前期が修了します。子どもたちが安全に登下校できましたこと、保護者・地域の皆様方に感謝申し上げます。

後期は、10月11日(水)からです。創立150周年式典や音楽発表会、読書旬間等、子どもたちの学びや経験がより一層充実できるよう支援してまいります。

命を守るためにヘルメットの着用を！

先日、ニュースを見ていると、「**自転車用ヘルメットの着用率が新潟県は2.4%で全国最下位**」というショッキングな情報が入ってきました。

非着用の理由として、

・面倒くさい ・格好が悪い ・髪型が崩れるのが嫌

などがあるようです。

ヘルメット着用は、努力義務となっていますが、なぜ着用すべきなのか？ それは、「**自分の命を守るため**」です。

ヘルメット非着用時の致死率は、着用時と比べて約2.2倍も高くなっています。自転車事故による被害を軽減するためには、頭部を守ることが大変重要です。(※H29~R3年合計 警視庁資料より)

新潟県における令和4年度の自転車死亡事故データを見ると、11件の死亡事故のうち、ヘルメット非着用者が10名(10代~80代)でした。

自転車事故による被害を軽減するために、乗車用ヘルメットを着用しましょう。



自転車安全利用五則

- 1 車道が原則、左側を通行
歩道は 例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用



子どもたちの危険な自転車乗り(交差点での飛び出し、荷物を抱えての片手運転)の様子が寄せられています。

各家庭で今一度安全についての約束を確認してください。

9月14日(木)に、西中通コミュニティセンターを会場に、西中通地区「通学児童の安全を守る会」の会合が開かれました。その中で話題になったのは、「**なぜその行動をするのかを理解させることが大事**」ということでした。

上記のヘルメット着用もそうですが、その意味が理解できないと正しい行動ができないということです。例として、「地震が来たら机の下に入って頭を守る」という行動を避難訓練で行いますが、新潟地震や東日本大震災などでグラウンドにいた子どもがわざわざ危険な屋内、教室に戻って机の下に入るという行動が見られたということです。落下物から頭を守るために机の下に入るのであって、落下物のないグラウンドにいたのならそこに留まるのが一番安全です(子どもだけで屋外にいた場合は不安で教室に戻ろうとする気持ちは理解できますが)。

メディアのルール、友達の家遊びに行った時のマナー、あいさつなど、ご家庭や地域でもなぜそうすべきなのか、そうしてはいけないのかを子どもたちに分かるように説明や話し合いをお願いします。

西中通地区「通学児童の安全を守る会」報告

市内で起きている窃盗事件は、無施錠(家、倉庫、自転車)によるものが狙われている。

自転車は、馬蹄錠とチェーンキーのツーロックすることが望ましい。

<児童生徒の安全対策>

- ・ 不審者など危険な目にあったらすぐに警察に通報を!
学校への連絡はそのあとで。
- ・ 下校は複数で。
- ・ 暗くなったら一人では歩かない。
- ・ 防犯ブザーを持ち歩く。



平成大橋交番
永原所長より

不審な人に声を掛けられたら...

- ① 大きな声を出して20mを全力で走って逃げる。
→20mは追うのをあきらめる距離だそうです。
- ② 近くの家に逃げ込む。
→たとえ知らない家であっても「おじいちゃん!」などと叫びながら逃げ込むとよい。
- ③ 防犯ブザーを鳴らす。
- ④ 腕や足をバタバタさせ、それでもダメなら噛みつく。
- ⑤ はっきり「嫌です!」「ダメです!」「行きません!」と断る。
- ⑥ 友達と助け合う。

地域活動サポートセンター柏崎 渡邊浩二さん講演より